

接眼ミクロメーターの組込み方法

(接眼レンズ／MA502 & MA520)

＜ご 注 意＞

顕微鏡は精密機器ですので、細心の注意を払ってお取扱いください。

接眼ミクロメーターは、組込み時に生じるキズやゴミの付着等を防ぐためにも、メイジテクノ（株）にて組込むことをお薦めいたします。



図 A



図 B



図 C

＜はじめに＞

接眼ミクロメーターの組込み作業は、必ず、ホコリなどのない清潔な場所で作業を行ってください。

接眼レンズ内部にホコリなどのゴミが付着すると、常に接眼レンズ視界内にゴミが映りこみますので、ご注意ください。

＜組込み方法＞

1. 接眼レンズ（MA502 or MA520）を接眼筒から抜き取り、ひっくり返します。

図Aの矢印にある、押さえリングのミゾを確認してください。

2. 精密ドライバーを用意してください。
図Bのように、リングのミゾに精密ドライバー先端を差し込み、反時計回りリングを回して外します。

※ 押さえリングを外す時は、ドライバーで筒内部を傷つけないよう、十分気を付けてください。

3. 接眼ミクロメーターをケースから取り出します。
その際、ホコリ等が接眼ミクロメーターに付着しないように注意してください。

※ もし、ホコリなどのゴミが接眼ミクロメーターに付着してしまった場合は、ブローアなどで吹き飛ばして除去してください。



図 D

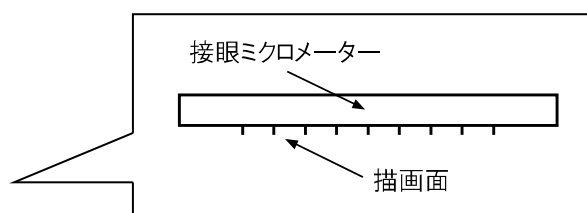


図 E

4. 接眼マイクロメーターの描画面を下にして、筒の中に静かに落とし込みます。

※ 接眼マイクロメーターはガラス製です、落として傷をつけたり、ゴミ等が付着することのないように、細心の注意を払ってお取り扱い下さい。

5. 筒入口に、2で取り外した押さえリングをはめ込みます。精密ドライバーをリングのミゾに差し込み、図Fのように、時計回りにゆっくりと回しながら締め込みます。



図 F

6. 最後に、押さえリングが緩んでいないことを確認してください。確認できましたら、これで接眼マイクロメーターの組込み作業は終了です。



図 G